

SIDR

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

《月報》
平成 25年 2月
(第6～9週)

発行年月日：平成25年(2013年) 3月18日
発行：滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といい、届出により全国または滋賀県で発生している一～四類および五類感染症の発生状況を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 25年				平成 24年*1		感染症 類型	疾 病 名	平成 25年				平成 24年*1	
		1月		2月		1～12月				1月		2月		1～12月	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	四類	鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0		ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	1	0	0	0	170
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	0	0	2
	ペスト	0	0	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0		鼻疽	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	
	結核	26	1,824	18	1,994	254	28,951	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	発しんチフス	0	0	0	0	0	0	
	鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	3	
三類	コレラ	0	0	0	0	0	3	マラリア	0	5	0	6	2	73	
	細菌性赤痢	0	10	0	5	0	214	野兔病	0	0	0	0	0	0	
	腸管出血性大腸菌感染症	0	49	0	63	37	3,765	ライム病	0	0	0	0	0	11	
	腸チフス	0	6	0	4	0	36	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	
	バラチフス	0	5	0	1	0	24	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	
四類	E型肝炎	0	4	0	16	0	119	類鼻疽	0	0	0	2	0	0	
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	レジオネラ症	0	73	0	47	10	898	
	A型肝炎	0	7	0	16	1	158	レプトスピラ症	0	1	0	0	0	30	
	エキノコックス症	0	1	0	1	0	17	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	五類	アメーバ赤痢	1	74	0	74	13	931
	オウム病	0	0	0	1	0	8		ウイルス性肝炎	0	14	0	20	4	235
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0		急性脳炎	0	52	1	36	3	361
	回帰熱	0	0	0	0	0	1		クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	6
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0		クロイツフェルト・ヤコブ病	0	12	1	13	2	183
	Q熱	0	0	0	0	0	1		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	18	0	16	3	243
	狂犬病	0	0	0	0	0	0		後天性免疫不全症候群	3	105	0	93	9	1,427
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	2		ジアルジア症	0	5	0	5	1	72
	サル痘	0	0	0	0	0	0		髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	15
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0		先天性風疹症候群	0	1	0	0	0	5
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	梅毒	1	75	0	69	1	891	
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	破傷風	0	6	0	5	0	117	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	
	チクングニア熱	0	1	0	1	0	10	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	10	0	9	0	91	
	つつが虫病	0	26	0	4	1	436	風しん	0	339	0	964	12	2,391	
	デング熱	0	10	0	9	2	221	麻しん	0	23	1	26	1	285	
東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	動物の 感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	0	0	0	0	0	0	
								細菌性赤痢のサル	0	0	0	3	0	2	
								エキノコックス症の犬	0	0	0	0	0	0	

*1 感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、H25.3現在)

滋賀県における全数報告感染症の概要 (2月)

＜結核＞ 18名 性別:男性 9名、女性 9名
 類型:患者 12名、無症状病原体保有者 6名
 病型:肺結核 9名 その他の結核 3名
 無症状病原体保有者 6名

＜急性脳炎＞ 女性 63歳
 推定感染経路は飛沫・飛沫核感染で、推定
 感染地域は日本国内です。また、病原体はイ
 ンフルエンザウイルスA型です。

＜クロイツフェルト・ヤコブ病＞ 女性 62歳
 推定感染経路および推定感染地域は、と
 もに不明です。

＜麻しん＞ 男性 41歳
 推定感染経路は不明で、推定感染地域は
 日本国内です。また、ワクチンの接種歴は1回
 目、2回目ともに不明です。
 病型は臨床診断例です。

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といいます。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

2月の概要

<インフルエンザ>

先月よりさらに増加し、第6週(2/4~2/10)には定点当たり患者数が28.77となり、今シーズンのピークを示しました。その後、減少傾向となりました。また、第5週(1/28~2/3)に発令されたインフルエンザ警報は、第9週(2/25~3/3)まで県内全域に連続して発令されていました。

<小児科定点疾患>

右記グラフ(インフルエンザおよび小児科定点疾患別発生状況)に示すとおり、前月より増加した疾患は咽頭結膜熱(プール熱)、手足口病および百日咳で、減少した疾患はRSウイルス感染症、水痘、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です。各疾患の週別発生状況は、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照。
 手足口病-----先月と同様、高島保健所管内からの報告が多くなっていました。
 百日咳-----患者報告数は5名で、すべて大津市保健所管内からの報告でした。年齢は8歳1名、15~19歳2名、20歳以上2名でした。

<眼科定点疾患><基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月の1/5に減少していました。急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。基幹定点疾患であるマイコプラズマ肺炎は先月より減少し、大津市保健所管内からの報告が多くなっていました。また、クラミジア肺炎、細菌性髄膜炎および無菌性髄膜炎の報告はありませんでした。

<インフルエンザ(入院)>

第6~9週に、インフルエンザ入院患者53名の届出がありました。性別では、男性28名、女性25名でした。保健所管内別では、大津市4名、甲賀6名、東近江5名、彦根6名、長浜25名および高島7名でした。年齢別では1歳未満5名、1~4歳7名、5~9歳7名、10~14歳2名、20~29歳1名、50~59歳2名、60~69歳3名、70~79歳8名および80~89歳11名および90歳以上7名でした。全国における第6~9週の入院患者数は3,218名でした。

また、滋賀県における平成24年第36週~平成25年第9週の入院サーベイランスの概況は、下記の表のとおりです。

<疑似症定点からの報告>

報告はありませんでした。

インフルエンザ入院サーベイランスの概況

(平成24年第36~平成25年第9週、H24.9.3~H25.3.3)

保健所別発生状況(滋賀県)

保健所	入院患者数
大津市	11
草津	2
甲賀	11
東近江	17
彦根	10
長浜	38
高島	20
計	109

(人)

入院時の状況(滋賀県)

期間	入院時の状況				
	ICU入室	人工呼吸器の使用	頭部CT検査、頭部MRI検査、脳波検査のいずれか実施	いずれにも該当せず	
平成24年	9月	0	0	0	
	10月	0	0	0	
	11月	0	0	0	
	12月	0	0	1	0
平成25年	1月	0	1	15	43
	2月	0	0	8	47
計*1	0	1	24	90	

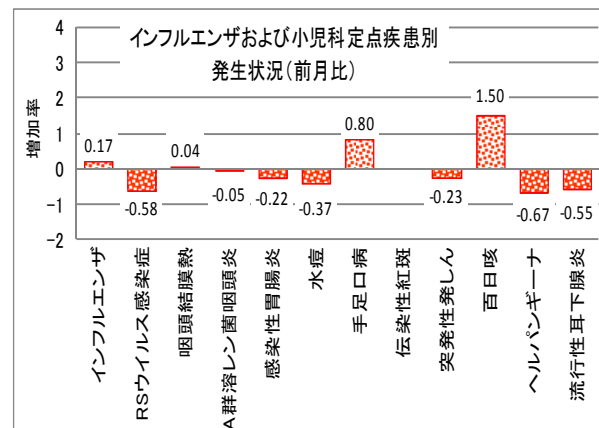
*1:一部重複あり

(人)

性別・年齢別発生状況(滋賀県)

年齢	入院患者数		
	男性	女性	計
1歳未満	7	4	11
1~4歳	17	8	25
5~9歳	13	8	21
10~14歳	2	1	3
15~19歳	1	0	1
20~29歳	1	0	1
30~39歳	0	1	1
40~49歳	0	0	0
50~59歳	2	0	2
60~69歳	2	2	4
70~79歳	7	6	13
80~89歳	7	10	17
90歳以上	3	7	10
合計	55	43	109

(人)



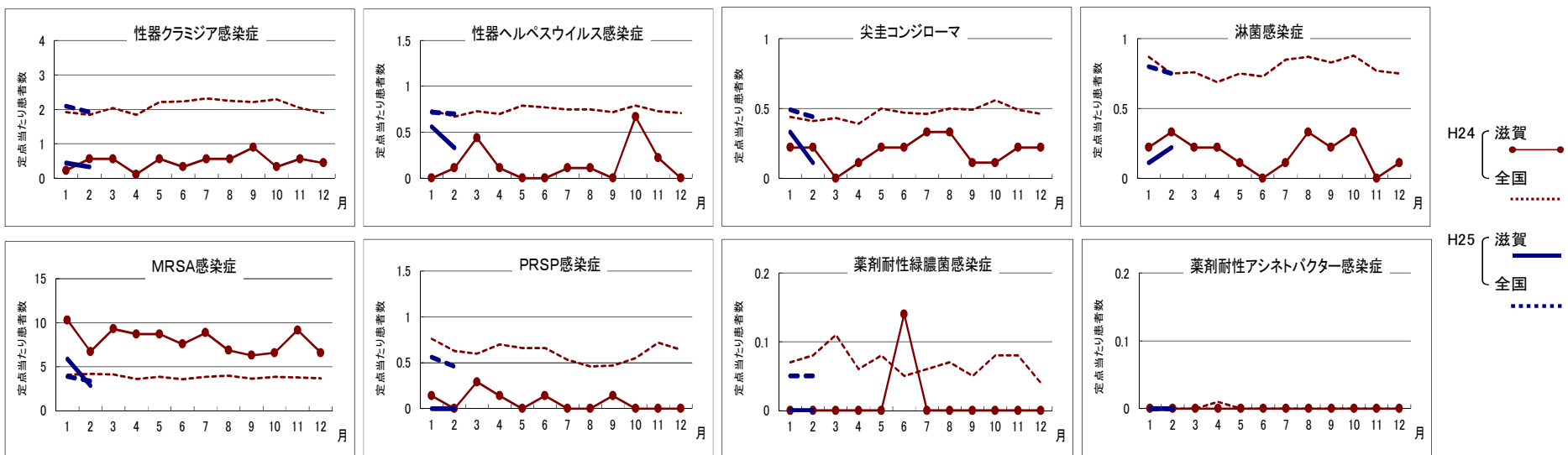
<各定点の対象疾患>

定点	疾患名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成 25年2月)

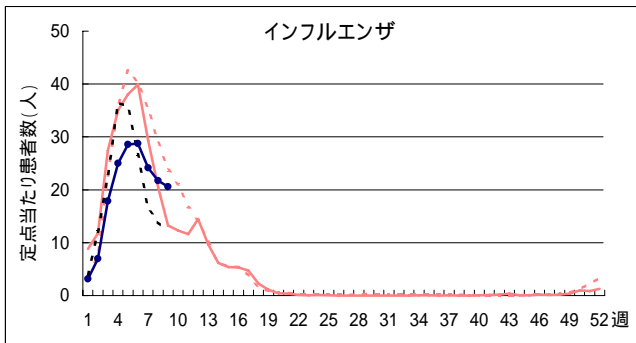
疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	報告数	4	3											7
	定点当たり患者数	0.44	0.33											0.77
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	5	3											8
	定点当たり患者数	0.56	0.33											0.89
尖圭コンジローマ	報告数	3	1											4
	定点当たり患者数	0.33	0.11											0.44
淋菌感染症	報告数	1	2											3
	定点当たり患者数	0.11	0.22											0.33
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	報告数	41	20											61
	定点当たり患者数	5.86	2.86											8.72
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	報告数	0	0											0
	定点当たり患者数	0	0											0
薬剤耐性 緑膿菌感染症	報告数	0	0											0
	定点当たり患者数	0	0											0
薬剤耐性 アシネトバクター感染症	報告数	0	0											0
	定点当たり患者数	0	0											0



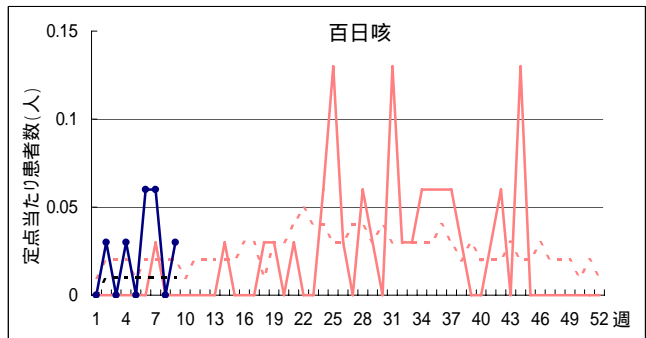
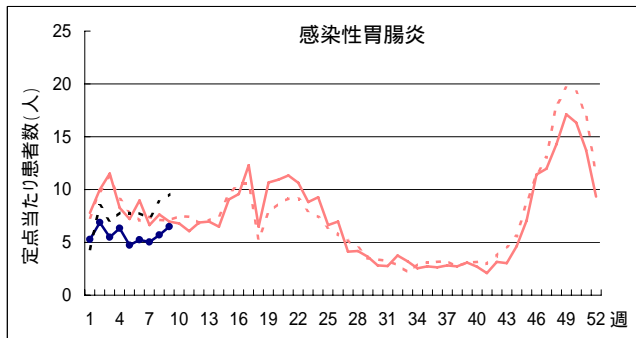
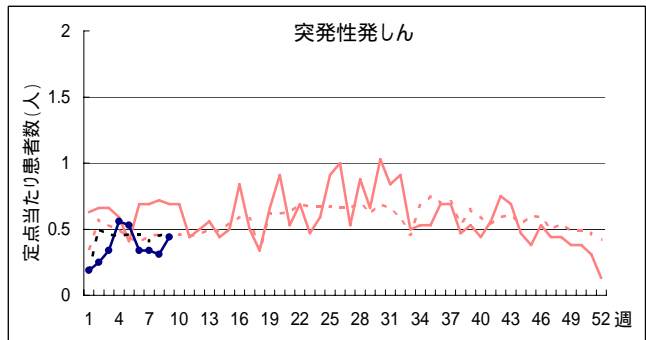
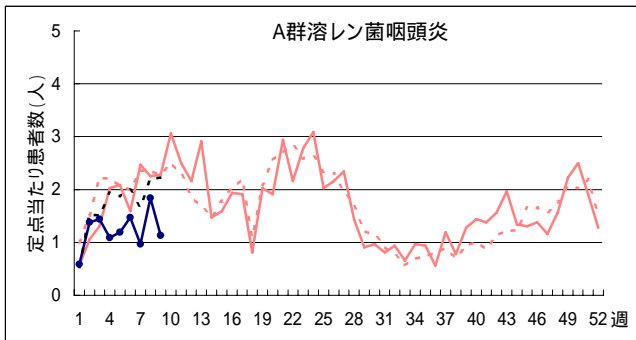
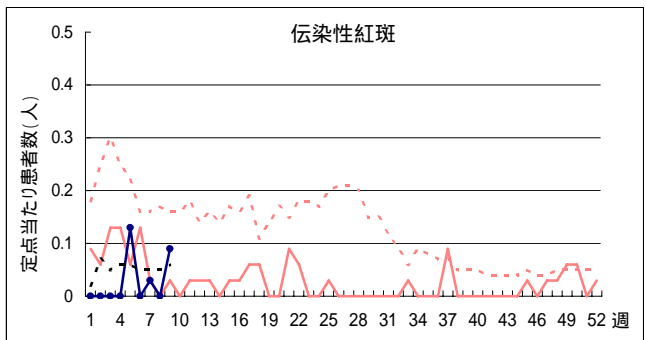
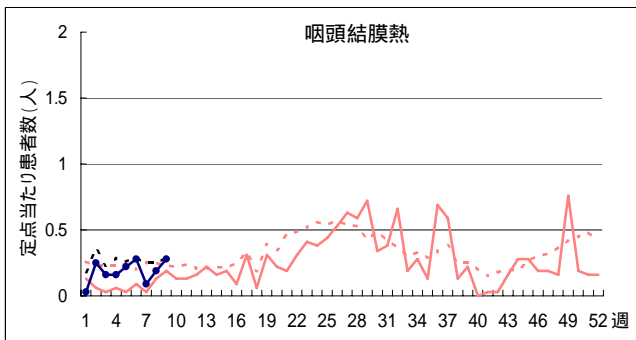
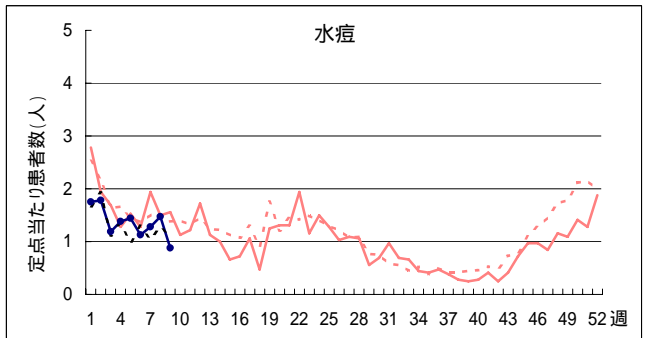
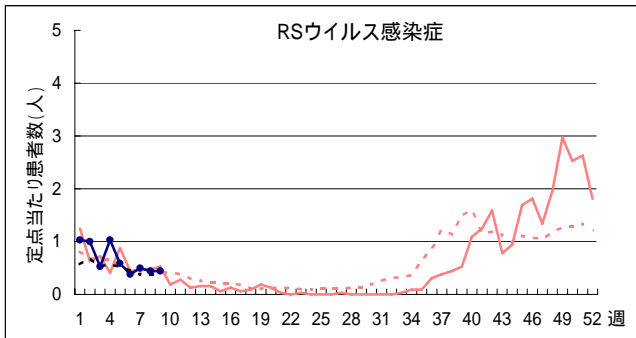
滋賀県における発生状況は上記に示すとおりです。先月と比較すると、増加した疾患は淋菌感染症のみで、他の疾患は減少していました。特に、MRSA感染症は先月より半減していました。また、PRSP感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症および薬剤耐性アシネトバクター感染症については、先月と同様、報告はありませんでした。

MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌

疾病別定点当たり患者数(平成25年第1~9週、H24.12.31~H25.3.3)



H25
 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)
 H24
 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)



疾病別定点当たり患者数 (平成25年第1~9週、H24.12.31~H25.3.3)

H25 〔滋賀 〇 全国〕 H24 〔滋賀 — 全国〕

